

## 飯島賢二の 『恐縮ですが...一言コラム』

### 第 441 回 MICE + MT ~ 次代の観光施策のキーワード

2011.10.09

これからの観光のキーワードは「**MICE**」。観光庁によるとMICEとは...  
企業等の会議 (**Meeting**)、企業等の行う報奨・研修旅行などのインセンティブ旅行、  
(**Incentive Travel**)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (**Convention**)、イベント、  
展示会・見本市 (**Event/Exhibition**) の頭文字のこと。多くの集客交流が見込まれる  
ビジネスイベントなどの総称と定義されている。

お題目ばかり唱えている我国の観光政策、一向に活性化しない中、今回もまた、観光  
先進地シンガポールを例に、これからの観光を考えてみたい。

**来訪者数の約 27%、観光収入の約 40%**をMICE客が占めるシンガポール。

シンガポール観光局 (**STB: Singapore Tourism Board**) における MICE 産業の振興策をみると、  
2006 年、シンガポールにおける MICE 産業の振興を図るため、国内外のイベント主催者を誘致する際の優遇制度である「**BEiS: Business Events in Singapore**」を導入した。  
これは、シンガポールにおいて国際レベルの大型イベントが容易に開催できるよう支援する制度で、  
2009 年 2 月には、この BEiS 制度が、MICE を含む観光産業全般を支援の対象とした **BOOST 制度**  
(**Building On Opportunities to Strengthen Tourism**) の下に統合され、より多様な優遇措置を講じることが可能となった。

この新制度では、例えばイベント開催費用に対する助成といった財政的な支援から、  
外国からの招待客や講演者に対する出入国手続きの簡易化といった非財政的な支援まで幅広く対象とし、  
この制度が導入されて以降、「シンガポール航空ショー」、「バイオメディカルアジア」、そして「シンガポール国際水週間」等、  
約 600 のイベントやビジネスの場において活用されている。

更に今後の主力戦略の一つは、**医療観光の振興**である。

近年、安価な医療費や高い医療技術を求め、外国で治療を受け、かつその滞在先で観光も行う医療観光 (**メディカルツーリズム Medical Tourism**) が注目を集めている。  
医療とはいえ、その内容は健康診断のような基礎医療から、癌や心臓手術といった高度医療、さらには美容整形まで幅広い分野に渡っている。

シンガポールの医療制度は世界的にも高く評価されており、世界保健機関 (WHO) が 2000 年に発表した「医療制度ランキング」では、アジアで第 1 位、世界全体では第 6 位にランクインしている。残念ながら日本ではなかった。

このように、世界的にも評価されるシンガポールの医療制度を「観光資源」として十分に活かし、医療観光産業を振興するため、2003 年に「**シンガポールメディスン**」という複数の行政機関による連携事業が打ち出された。これにより、シンガポール経済開発庁とシンガポール国際企業庁、STB が連携し、シンガポールを「**アジアの医療ハブ**」とすべく各種政策が実施されている。

2007 年のシンガポール来訪者のうち、医療観光者 (**メディカルツーリスト**) は約 40 万人であったが、STB は 2012 年には年間 100 万人、観光収入 30 億シンガポールドル (約 1,950 億円) 規模の市場へと成長させることを目指している。

### Meeting

企業等のミーティング等。

例: グループ企業の役員会議  
海外投資家向け金融セミナー 等

### Incentive(Travel)

企業が従業員やその代理店等の表彰や研修などの目的で実施する旅行のこと。  
企業報奨・研修旅行とも呼ばれる。

例: 営業成績の優秀者に対し、本社役員によるレセプション、表彰式等を行う。

### Convention

国際団体、学会、協会が主催する  
総会、学術会議等。

例: APEC、生物多様性条約第10回締約  
国会議(COP10)、世界建築会議、  
国際法曹協会年次総会 等

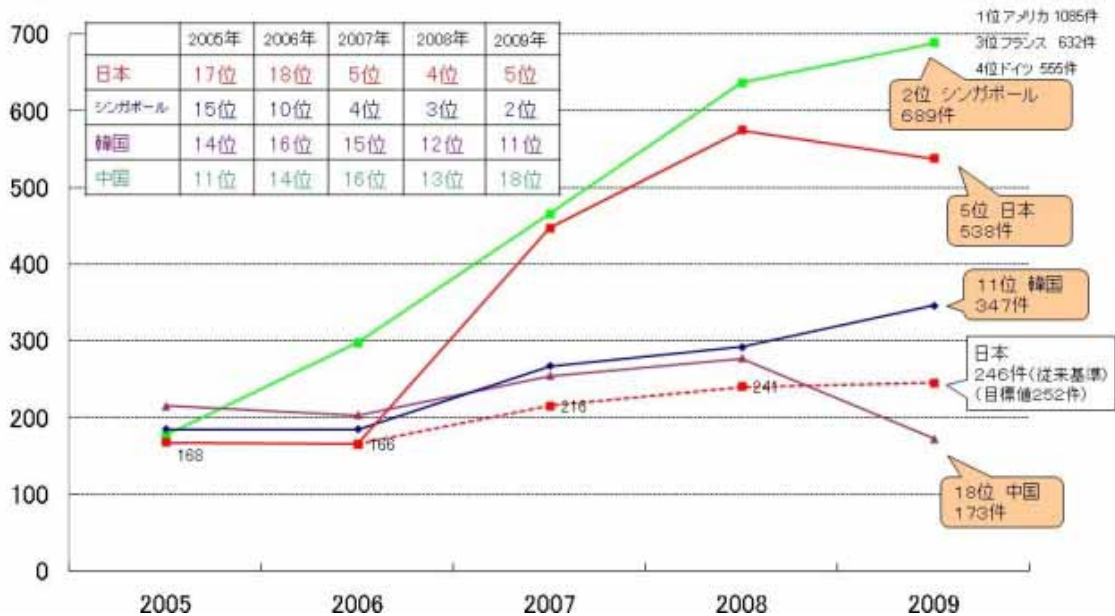
### Event / Exhibition

文化・スポーツイベント、展示会・見本市。

例: 東京国際映画祭、世界陸上競技選手  
権大会、アジアバスケットボールリーグ、  
東京モーターショー、国際宝飾展 等

## 国際会議の開催件数の推移

※ 2011年までに、主要な国際会議の開催件数を5割増(2005年の168件を2011年には252件)を目指す。(観光立国推進基本計画に定められた目標値)  
※ 2007年UIAが従来の基準を緩和したことにより国際会議の開催件数は増加している。



出典: 日本の状況 ~ 観光庁

<http://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kokusai/mice.html>